

とのおの社協 福祉だより

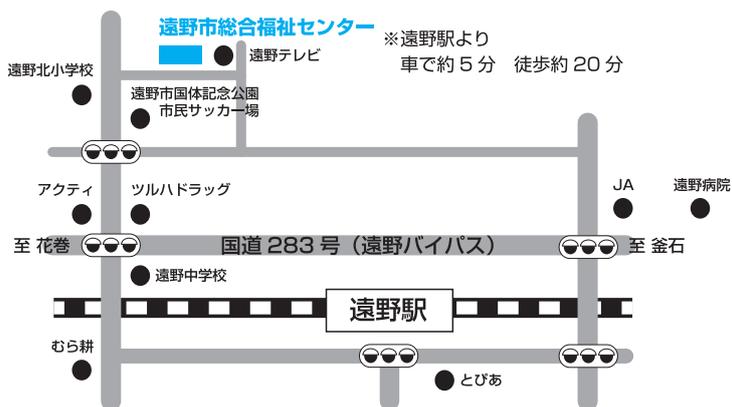
2020 11 月
第87号

～ふれあい、たすけあいが育む、安心な福祉のまちづくり～



当協議会では、遠野市より「高齢者等見守り体制構築事業」の委託を受け、市内在住の約3,200世帯を対象に訪問調査を実施しております。

この調査では「新型コロナウイルス感染症による生活不安」、「災害時における避難場所や避難支援者の確認」等の聞き取りを行っています。市民の皆さまには趣旨をご理解の上、ご協力をお願い致します。



もくじ

- 地域福祉情報……………P 4
 - ・ 高齢者等見守り体制構築事業
 - ・ 社協支部懇談会 ほか
- 共同募金NEWS……………P 7
- お知らせ……………P 8
 - ・ 教育支援資金のご案内 ほか
- 奥の細道・ご寄附
 - ・ ボランティア協力紹介……………P 10



この広報誌は、
赤い羽根共同募金の配分を受けて作成しています

調査対象者

- ・75歳以上のみの高齢者世帯
- ・重度障がい者（身体障害1・2級、知的障害A級、精神障害1級）のいる世帯
- ・要介護3以上の要介護者のいる世帯

進捗状況と
調査スケジュール

(※ 調査の進捗状況により、前後する場合があります)

令和2年	
10月上旬	土淵町 (86.6%調査完了)
10月中旬	上郷町 (64.1%調査完了)
10月下旬	宮守町 (53.5%調査完了)
10月下旬 ～11月上旬	宮守町達曽部 (2.8%調査完了)
11月中旬 ～12月	遠野町、松崎町
令和3年	
1月上旬	附馬牛町
1月下旬	小友町
2月中旬	青笹町
3月上旬	綾織町、宮守町鱒沢

福祉だより9月号（第86号）でお知らせした訪問調査が10月1日からスタートしました。調査員証を携帯し、相談員やケアマネジャー、デイサービス職員、ヘルパー、事務局職員など、社協職員が一丸となって、対象の方々と調査しています。

災害時の備え、新型コロナウイルス感染症が生活に及ぼした影響などを調査しており、結果は遠野市に提出します。災害時だけでなく、日頃の地域支え合いにもつなげていく大切な調査です。

10月末時点の調査進捗状況と今後の予定は次のとおりです。



訪問調査で見えてきたこと
聞こえてきたこと



(遠野市の新型コロナ対策事業による)
新米やタクシー券がもらえて助かった。

(新型コロナウイルスの影響で) 人混みが怖い。人との交流の機会が減ってしまっていて、退屈だ。

(災害時に) 避難指示が出たら、本当は自治会館等に行かなくちゃだめなんだけど、家の方が安全安心だ～。

訪問調査は令和3年の3月まで続きます。

この調査を、「普段から思っていたけれど、どこへ話したらいいのかわからない」ということを話すきっかけや、「そういえば、災害時にどうすればいいんだろう?」といった気付きの機会として頂けたら幸いです。

対象世帯に訪問に伺いますので、引き続き、ご理解ご協力をお願いいたします。

社協支部との懇談会 中間報告

新型コロナウイルス感染症予防のため中止した「社協支部長・事務局長・地区センター所長会議」に代えて、8月から「社協支部との懇談会」を実施しております。11月10日時点で市内8地区が終了しましたので、内容の一部をご紹介します。



◇開催日時	
上郷	8月26日
鱒沢	9月4日
土淵	9月7日
附馬牛	9月11日
青笹	9月25日
遠野	9月30日
松崎	10月13日
綾織	11月5日
小友	11月19日予定
宮守・達曾部	11月25日予定
◇参加者数	111名
◇延べ意見・質問数	86件

新型コロナウイルス感染症拡大防止、予防対策による社協のマイクロバス貸出の制限は？



- ①乗車定員数の制限（24人→12人）
 - ②運行区域は岩手県内での日帰り利用のみ
 - ③乗車前に全員の検温、マスク着用、手指消毒の徹底
 - ④乗車時は座席の間隔を空け、換気
 - ⑤使用後は利用者による座席の消毒
 - ⑥実績名簿の記入
- ※制限の期限は設けておりません。感染防止を徹底してご活用ください！

毎年支部で開催する「ひとり暮らし高齢者交流会」はそれぞれ工夫して行なって良いの？



支部に交付される予算を有効に活用し、柔軟に対応してください。

自分の役割がなく、何もできないと気落ちしていた高齢者が、デイサービスを利用し始めて、いきいきしてきた。地域ではデイサービス（介護保険サービス）に対する偏見がまだある。必要な人が利用しやすい環境づくりや周知が必要と考えるため、元気なうちから地域住民に理解してもらおうと良いのではないか。



今年度はふれあいホームの施設（上郷、小友、附馬牛）を開放予定としており、介護食の試食体験会も検討しているところです。施設見学は自由なので、さらに工夫していきたいと考えています。お気軽にご相談ください。

【まるごと相談員について】

まるごと相談員を各地区センターに配置してほしい。最初から常駐でなくても、週2,3回でも相談ができると分かれば、住民は安心できる。柔軟に対応をしていただくことで、小さな拠点の地区センターのスムーズな運営ができる。

【地域づくりについて】

新しいことばかりがまちづくりではない。今住んでいる人たちが楽しく過ごして、活動が維持できるのがまちづくりなのではないかと思う。



未来へ繋ぐ 福祉の森

11月2日、福祉の森管理委員会を開催しました。福祉の森管理委員3名に白井会長から委嘱状が交付され、委員長には菊池修市さんが選出されました。委嘱状交付の後、第一種福祉の森（綾織町）の現地視察を行いました。福祉の森を適切に管理しながら、今後の活用についても検討していきます。

(任期：R2.11.1～R4.10.31)

選出枠	氏名	備考
知識経験者	菊池 修市	遠野地方森林組合
綾織支部	及川 清人	綾織支部長
土淵支部	留場 和夫	土淵支部長



※ 福祉の森は、昭和33年に民生員制度創設40周年記念事業として、土淵町栃内にある国有林の一部に記念植樹をしたことから始まりました。その後、昭和40年から岩手県社協と遠野市社協の共同事業として、10年かけて綾織町みさ崎の山に植林をしました。昭和63年には、この綾織町の山林（面積481,894㎡）を将来の社協活動財源のために購入し、現在に至っています。また、土淵町西内の第二種福祉の森（面積8,500㎡）も分収林として遠野市と契約しています。

新鮮お野菜 収穫体験

@地域活動支援センター「カムカム」

地域活動支援センター「カムカム」とは？

障がいをお持ちの方が自由に通い、仲間との交流や創作活動等を通して自立した日常生活を営むことが出来るように過ごす場所です。遠野市の委託を受け、中央通りにある「市民交流サロンちょボラ」の中にあります。



10月17日、「ピーマンの収穫体験をしてみませんか？」と農事組合法人かみごう農産（組合員82名 山崎登久昭代表）様からお誘いいただき、カムカムのメンバーとスタッフ4名が、ピーマン圃場にお邪魔しました。

降らず照らずの収穫日和の下、たわわに実ったピーマンを、初めはなかなか上手く収穫できませんでしたが、コツを教えていただきくうちに、蔓をつけたままきれいに採れるようになりました。お土産に採れたてのピーマンを沢山いただき、大満足の日となりました。ありがとうございました。



11月1日、地域ボランティアの方々が育ててくれた大根やねぎの収穫体験を総勢10名で行いました。丁寧な手入れのおかげで土が柔らかく、大根もねぎもすっぽんすっぽんと小気味よく抜け、10列以上あった農作物の収穫はあっという間に終わりました。

「今の時期はお鍋かな」「ふろふき大根も良いよね」とおいしそうなお土産に想像が広がります。

収穫した野菜類は、お土産として持ち帰った分を除き、遠野市社会福祉協議会の事業所で活用させていただきました。ありがとうございました。



実りの秋 農福連携の取組

農福連携とは？

過疎化高齢化が進む農業と障がい者福祉活動を連携させ、担い手不足の解消や地域活性化、生業づくり、地域福祉の充実を目指す取り組み。

手をつなぐ育成会は、知的障害者とその家族を支援するための活動を行う民間団体です。

今回は、「親子で楽しく活動」をしようと、野外での活動に取り組みました。

10月11日は小友の里山でクルミひろい、10月25日は昨年に続き青笹町の萬通寺様から場所の提供をいただき、銀杏ひろいを行いました。

参加者は、楽しくおしゃべりしながら落ち葉に隠れたクルミや銀杏をひろい集めました。散策中は、アケビやコクワ（サルナシ）の実も見つけ、のびのびとした楽しい野外活動になりました。

収穫したクルミや銀杏の実は、袋詰めをして、市民交流サロンちょボラなどで販売する予定です。

立派な
銀杏の木に
圧巻！



中腰での
クルミ拾いは
キツイなあ～

愛でてよし、食べてよし！ ひまわりプロジェクトに参加!!

今年度、農福連携事業の一環で「ふくしまとみんなをつなぐひまわりプロジェクト」に栽培協力者として参加しました。今回の活動は、遠野地区不登校を考える親の会（通称 たんぼば会）様をきっかけに始まりました。

5月上旬のポットへの植ええから始まり、育った苗を畑へ植え、7月上旬にはひまわりの盛りを迎えました。見頃を終えた後は、ひまわりを乾燥させ、種の収穫をしました。どの過程にも地域ボランティアの方々（延べ57名）にご協力いただき、地域間交流を図ることが出来ました。ありがとうございました。

※ 収穫したひまわりの種は、福島県の製油所で搾油し、製品化されます。商品ラベリングなどを障がい者福祉B型作業所に委託することで、工賃等になり、障がい者支援へとつながります。



ほうき作り参加者募集!

昨年度に引き続き、今年も地域間交流、ほうき作りの輪が広がることを目的に「マイ・ホウキ作り講座」を開催します。

原材料となるほうき草は、地域のボランティアの方々との協力を得て、最適なものができました。

手作りのほうきで、年末の大掃除に備えませんか？奮ってご参加ください！

- 【場 所】 遠野市総合福祉センター
「第2,3会議室」
(遠野市松崎町白岩字薬研淵1-3)
- 【時 間】 9:30～15:30
- 【募集人数】 先着10名
- 【申込締切日】 令和2年11月26日(木)
- 【問い合わせ・申込】 地域福祉課 ☎62-8459

【事前準備】
ほうき草の種とり
12月3日(木)

【講座】
「マイ・ホウキ作り」
12月10日(木)
12月12日(土)
※いずれか1日

判断能力が不十分な人の財産と権利を守る

成年後見制度

成年後見制度とは、判断能力が不十分なため契約等の法律行為を行えない人を成年後見人が代理し、必要な契約等を締結したり財産を管理したりして本人の保護を図るものです。

突然ですが！

あなたのまわりでこんな困ったこと、心配なことはありませんか？

認知症の父の生命保険や銀行の手続が本人でないとできないと言われた……



本人に代わって手続きを行うほか、預貯金の管理（入出金）も行います。



子どもの将来のことが心配だ。誰が代わりに契約してくれるのか……

誰に契約や財産管理を頼むかなど、あらかじめ将来のことを決めておくことができます。

身寄りのない私が入院してしまった。この先どうなるの……



介護保険制度や障害者総合支援法の手続き、または入所施設の契約のほか利用するサービスの契約などを本人に代わって行います。

その人が望む生活を成年後見人が一緒に考え、支えます

今年度の市民後見人養成講座終了

～地域で寄り添い、共に歩む～

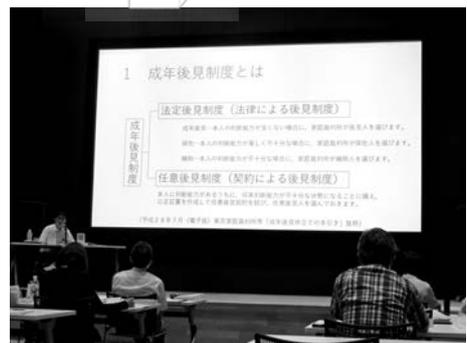


9月4日から10月13日にかけて、市民後見人養成講座を行いました。およそ一カ月半、約50時間に及ぶ講座を、受講生19名（内、遠野市6名）全員が、全科目を修了されました。

市民後見人とは、一般市民の方で、市町村が実施する養成研修を受講し、成年後見制度に関する一定の知識・態度を身に着けた方です。成年後見人の担い手として、家庭裁判所により選任されます。

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断力が低下した方が安心して暮らせるよう、同じ地域で暮らす市民の目線から生活の支え手となる方々であり、今後の活躍が期待されています。

成年後見制度や市民後見について詳しく知りたい方は、成年後見センター遠野サテライト（☎62-8459）までご連絡ください。



歳末たすけあい運動が12月1日から始まります
 — つながり ささえあう みんなの地域づくり —



令和2年度歳末たすけあい運動が12月1日から全国一斉に始まります。

今年は、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに12月31日まで運動が展開されます。

この運動は、赤い羽根共同募金運動と同様に共同募金事業のひとつで、支援を必要とする方が安心して地域での生活ができるように、市民の皆さまからいただいた募金を激励金としてお届けするものです。

また、この運動には各行政区の区長、班長、民生児童委員、各地区センター職員の皆さま、社会福祉協議会各支部をはじめとする多くの方々の協力をいただいております。

地域住民全員が、憂いなく年を越せるように、皆さまのご協力をよろしく願いいたします。

●募金の種類

▽戸別募金・・・各世帯から300円を目安に寄付をお願いする募金です。

▽その他一般募金・・・赤い羽根共同募金と同様に、職場で取り組む「職域募金」、学校で取り組む「学校募金」、個人・団体で寄付する「一般募金」があります。

●激励金対象者の目安

- ・生活困窮世帯
- ・ひとり暮らし高齢者世帯
- ・高齢者夫婦世帯
- ・介護を要する方がいる世帯
- ・母子・父子世帯
- ・里親世帯
- ・遺児世帯
- ・災害被災世帯



赤い羽根共同募金運動スタート

～みなさまの善意が届いています～

10月1日から共同募金運動が始まりました。街頭募金は、規模を縮小して三密（密集・密接・密閉）を避け、市内2か所（とぴあ、市制施行記念式典会場）で実施しました。街頭での声掛けにも快く応じていただきました。



また、毎年実施している「遠野市福祉バザー」は残念ながら中止となりましたが、皆さまから頂いた物品を活用した事例を紹介いたします。



福祉バザーの物品は、例年、市民の皆さまへ募集を呼びかけています。しかし、全ての物品が完売しているわけではありません。次年度のために、各団体にて保管していただいています。

今回、社会福祉法人睦会では、綾織町にある施設「結和」内にて、販売頂き、その収益をご寄付いただきました。ありがとうございました。

◇法人募金・・・市内の法人（企業）にご協力をいただいております！

ご協力いただいた法人（企業）は3月号でご紹介します。

令和2年度 ボランティア育成支援事業

手話講座受講生募集！

～ 手話に触れよう～

参加費無料

手話を必要とする聴覚障がい者のコミュニケーション支援、聴覚障がい者に対する理解や住みよい生活環境づくりのために手話講座を実施します。お気軽にご参加ください！

【期日・内容】※全4回

- 1月9日(±) 開講式、自己紹介の手話など
- 1月16日(±) 家族の手話
- 1月23日(±) 趣味・仕事の手話
- 1月30日(±) 日常生活に関する手話など、閉講式



◇講師 菊池 直子 氏



◇手話通訳 花巻保健福祉環境センター
ろうあ者盲ろう者相談員

◇協力 手話サークルどんぐり様

【場 所】遠野市総合福祉センター「第1会議室」
(遠野市松崎町白岩字薬研淵1-3)

【時 間】13:30～15:30

【募集人数】先着10名(小学生～大人)

【申込締切日】令和2年12月18日(金)

【問い合わせ・申込み】

ボランティア・市民交流サロンちょボラ

☎ 0198-63-3535

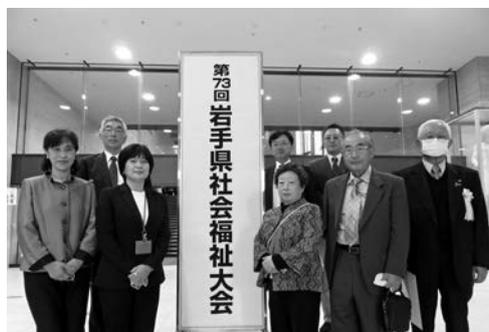
FAX 0198-63-2828

※ FAXでのお申し込みの方は、お名前とご住所、FAX番号を添えてお申し込みください。

第73回岩手県社会福祉大会

10月30日(金) 岩手県民会館大ホール(盛岡市)において第73回岩手県社会福祉大会が県内福祉関係者参加のもと開催されました。この大会は毎年、県内の社会福祉関係者が一堂に会して一層の発展を期し、永年にわたって地域福祉に尽くされた方々を顕彰し感謝を表すために開催されるもので、個人・団体が表彰されました。遠野市からは、個人25名に表彰状・感謝状が贈られました。なお、この大会で表彰された個人・団体は次のとおりです。(敬称略・順不同)

- ▽岩手県知事表彰
- ▽施設長または従事者
- ・梶原 エミ子 (松崎町)
- ▽岩手県社会福祉大会長表彰
- ▽社会福祉事業功労者
- ・高橋 洋子 (松崎町)
- ・(民生委員・児童委員)
- ・菊池 夕キ (松崎町)
- ・(民間施設役員)
- ・齋藤 隆一 (宮守町)
- ・菊池 悦子 (宮守町)
- ▽共同募金運動功労者
- ・吉田 文一 (松崎町)
- ・太田 元康 (宮守町)
- ▽永年勤続功労者
- ・(福)遠野市社会福祉協議会
- ・菊池 悦子 (上郷町)
- ・(福)睦念
- ・太田 善之 (宮守町)
- ・正部 家学 (松崎町)



- ▽岩手県民生委員児童委員協議会会長表彰
- ▽永年勤続民生委員・児童委員
- ・阿部 正秀 (新穀町)
- ・(福)ともり会
- ・八重樫 正昇 (宮守町)
- ・菊池 さゆき (宮守町)
- ・佐々木 紀栄子 (盛岡市)
- ・佐々木 豊治 (盛岡市)
- ・石井 美代子 (青笹町)
- ・齊藤 孝子 (宮守町)
- ・佐藤 牧夫 (宮守町)
- ・佐藤 美江 (宮守町)
- ・小松 暁史 (宮守町)
- ・石井 学 (青笹町)
- ・河野 美保子 (宮守町)
- ・(福)遠野市保育協会
- ・菊池 智子 (松崎町)
- ・下関 博子 (青笹町)
- ・杉本 由美子 (青笹町)

1. 教育支援資金とは

高等学校、大学（短大、専修学校を含む）、高等専門学校の就学費用を貸付するものです。教育支援費と就学支度費の2種類があります。合格前でも受験票の写しを添付いただければ申込み可能です。在学は随時受け付けています。

2. ご利用いただける世帯

一定の所得以下の世帯で、資金の融通を他から受けることが困難な世帯。ただし、母子父子寡婦福祉資金や日本学生支援機構奨学金一種等、他の公的貸付制度の活用が可能な場合は他制度が優先されます。他にも要件がありますので、詳しい内容はお気軽にお問い合わせください。

3. 資金の内容

内容	教育支援費	就学支度費
貸付限度額	高校／月額3.5万円以内 短大／月額6.0万円以内 高専／月額6.0万円以内 大学／月額6.5万円以内	50万円以内（入学時のみ貸付）
貸付対象となる経費	授業料、学校納入諸経費、教科書、参考書、教材費 学用品、通学交通費、修学旅行費、家賃、生活費等	入学時に学校へ納入する経費（入学金、教科書） 制服、体育着、スーツ、生活用品等
償還期限	据置期間：卒業後6ヶ月以内 返済期間：20年以内	貸付利子：無利子

【相談・問い合わせ】 遠野市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎ 62-8459

※事前に電話でお問い合わせいただくようお願いいたします。

「もったいない...」を
「ありがとう」に！

～フードバンクへの 食料寄付のお願い～

遠野市社協では、「生活にお困りの方への支援」として、**長期保存可能な食料品を随時募集**しています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、岩手県内でもSOSの件数が増加しています。皆様のご協力よろしくお願いたします。

現在、特におかず類（缶詰、瓶詰、レトルト食品など）が不足しています。

心配ごと相談・無料弁護士相談のご案内

住民が抱える様々な相談に対し、解決へのアドバイスや専門機関及び関係機関への紹介を行っています。また、遠野ひまわり基金法律事務所の協力を得て、無料弁護士相談を実施しています。

一人で悩まずにお気軽にご相談ください。

心配ごと相談

◇遠野地区：遠野市総合福祉センター相談室

☎62-9260（開設時のみ）

日時：12月4日（金）、18日（金）

1月8日（金）、15日（金）10時～16時

◇宮守地区：宮守総合支所相談室

☎67-2833

日時：12月16日（水）、1月20日（水）

10時～15時

無料弁護士相談【要予約】

※一人30分から1時間以内となります。

◇宮守総合支所相談室

12月16日（水）10時～17時

◇遠野市総合福祉センター相談室

1月15日（金）10時～17時

【予約・問い合わせ】 遠野市社会福祉協議会

地域福祉課

☎62-8459

宮守福祉センター

☎67-2833

奥の細道

テーマ「葱(ねぎ) または「冬柏(ふゆかしわ)」



『葱(ねぎ)』

味噌汁は葱と煮干で今日も生き
落葉を水面に流し葱洗う
長葱やいものこに入れ風邪予防
寄せ鍋にひと味添える冬の葱
晩秋の葱鮎の薫り冬近し
曲りネギお前も腰が痛むのか
向寒の節ねぎ汁お膳でかぜひかぬ
凜と立つ葱坊主刈り畑終う
葱刻む野菜仲間とお椀中
葱たちは冬ごもりして強く生き
寄せ鍋に長葱そえて味香樂し
食べたたいね二子里いもねぎやく味

- (小友町) 菊池昭夫
- (附馬牛町) 藤田京子
- (附馬牛町) 新田重助
- (附馬牛町) 坪井愛子
- (松崎町) 渡辺セツ子
- (松崎町) 鈴木行雄
- (土淵町) 大洞正男
- (土淵町) 前田勝子
- (土淵町) 立花ヤエ
- (青笹町) 櫻井長子
- (青笹町) 菊池敬一
- (宮守町) 平賀子

(順不同・敬称略)

『冬柏(ふゆかしわ)』

庭の幸改めて見る冬柏
冬柏裸の山にそびえ立つ
冬柏兵衛の神話誰ぞ知る
かたくなに老いの細道冬かしわ
枯葉をも落とすを惜む冬柏
冬柏枯れ葉も揺れる風の音

- (大工町) 太田清子
- (中央通り) 新田マサ子
- (鶯崎町) 松木忠子
- (小友町) 唯是榮子
- (附馬牛町) 藤田安治
- (青笹町) 菊池美

◆「奥の細道」俳句・川柳募集

題材「水柱(みづはしら)」または「水鳥」(自信作を一句)
12月25日必着。はがきに住所、氏名、電話番号を明記の上、お送りください。

◆投句先 遠野市松崎町白岩字薬研淵1-3

遠野市社会福祉協議会「奥の細道」係
※紙面の都合により応募多数の場合は抽選とさせていただきます。
※氏名の記載がないものや題材が違うものは掲載できませんので、予めご了承ください。

◆ご寄附を頂いた皆様

【寄付金】

菅原 弘子様 50,000円

【物品寄附】 (順不同)

遠野町地域婦人団体協議会様 100,000円

釜石地区法人会 青年部会様 (車いす4台)

岩手県建設業協会 女性協議会 遠野支部様 (福祉作業用ふきん724枚)

松崎町地域づくり連絡協議会女性部 代表 菊池 美千代様 (ウエス1, 400枚)

リヒンドウシューズ株式会社 代表 千葉 美和様(宮城県) タオル、シーツ等23枚 (日立過熱水蒸気アイロンレンジ 一台)

―ご厚意ありがとうございます―

皆様の善意に心から感謝を申し上げます

◆ご協力を頂いたボランティアの皆様

【ふれあいホーム薬研淵】 小野 恵一様 (踊り)

【ふれあいホーム小友】 小友町中央振興会様 (草刈り)

「絵手紙」が届きました!

絵手紙サークル「いちいの会」様より手作りの絵手紙が届きました。

この絵手紙は毎年いただいております。配食サービス利用者様に届けられています。温かく感性豊かな作品、ありがとうございました。